

園だより 11月

あなたはすべてを知恵によって成し遂げられた。

地はお造りになったものに満ちている。

詩編 104 篇 24 節

10月は「運動会」「お芋ほり」「収穫感謝礼拝」「引き取り訓練」と、園全体で行うことが後半のところまで続けて催され、慌しさを感じた日々となりました。けれどもその一つひとつに子どもたちの成長を願い、今の子どもたちにとってどの様な経験となることが大切であるかを保育者たちは常に想いを廻らせ、10月の日々も様々に計画し環境を整えました。

運動会につきましては、今年度も学年それぞれの「ねらい」を軸に、子どもたちが主体性を大切に「やりたい・やってみたい」の充実感・達成感を味わうことを願い、運動会に向けての日々が過ごされました。年少・中組は楽しんでいる絵本の世界に入り込み、ファンタジーの世界を体で表現し楽しみました。お友だちと一緒に同じ世界を共有しイメージしながら遊ぶとき、そこには一体感が生まれます。そして、クラス、学年のお友だちに対する関係性がより深まります。これからの友だちへの思いに繋がる大切な経験となりました。年長組はこれまでに育まれてきた話し合う力を大切に、お互いの意見を聞き、それぞれが思っていることを伝え合いながら、どんな運動会にしたらみんなが楽しく、そして一人ひとりの力を発揮するときになるかを何日も話し合いました。自分の意見が友だちに「いいね」と言われてとっても嬉しく感じた子、意見が伝わらず・・・の思いをした子、話し合いの中では色々な心もちが行き交ったことでしょう。その様な中で、お互いに認め合ったり、自分の心との折り合いをつけるなど貴重な経験もしました。みんなで決めた種目を楽しんだ年長児たちの姿は頑張る力と喜びで溢れていました。保護者の皆様も感想に記して下さっていた、1位・2位と順位を決めなくとも、子どもたちは十分に充実感・達成感を感じていました。そして、それは子どもたちの自分に対する自信となっています。今年度も保護者の皆さまに子どもたちの真の充実感・達成感、そしてみんなで楽しめた事への喜びを共感していただけたことに感謝申し上げます。また、前日・当日のお支えにより、スムーズに運動会の1日を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

ぐんと成長した子どもたち、11月からは「静のとき」を迎え、そこから様々に感じ合いながら、心の成長が続きます。ご一緒に「そのとき」を大切にお過ごしいただけましたらと願います。

園長 駿河 幸子

